

12月20日（火）の放課後、化学室でボランティア活動としてチョコレートの入っている缶の袋詰めをしました。この缶入りのチョコレートはチョコ募金として1缶500円で売られます。このうち300円はイラクに、50円は福島に募金され、残額が製造費に充てられます。

チョコ詰めのボランティアに参加したのは、図書委員、生徒会執行部、サッカー部、有志の生徒の約50人でした。最初に、「アラブの子どもとなかよくする会」の西村陽子さんにイラクの現状や袋詰めの仕方について説明してもらいました。



それぞれ役割分担をして作業しました。
限られた時間の中、速いペースで作業できてよかったです。
また、普段話をしたことのない人とも協力している姿が見られ
良い雰囲気が進めることができました。



チョコの入った缶を袋に入れたところです。この他に絵柄の違う
缶が3種類あり、計4種類の缶をそれぞれ袋に入れました。
袋に入れる時に、接着面に空気やゴミが入ったり、缶の向きが
違っていたりするとやり直しになります。



1個ずつ袋に入れた物を、さらにセットとして絵柄の違うものを
各種類1個ずつ袋に入れていきます。
手が大きい人だと袋が破れてしまうので、ここは女子が担当し
ました。
どの絵柄をどの場所に入れるかまで、ちゃんと決まっています。



この4種類の絵は、日本の支援により小児白血病を克服したハウ
ラという少女が描いたものです。チョコレートと一緒に入ってい
るカードにはイラクの子どもたちからのメッセージが書かれて
います。



最後は完成したものをダンボールに詰めました。
丁寧に作業してもらったおかげで、箱詰めもスムーズに終わりました。

作業に参加してくれた皆さん、ありがとうございました。